

消防力適正配置調査の概要

秋田市消防本部 警防課

担 当 秋田市消防本部 警防課
警防課長補佐 佐藤和則
直 通 018-823-4243
F A X 018-823-9006

1 調査概要

- (1) 目的 人口減少、少子高齢化、都市構造の変化など、本市の実態に見合った消防力を確保するため、消防署所の統合や消防車両の配置換えなどの適正配置を検討し、効果的・効率的な消防体制を確立すること。
- (2) 委託先 一般財団法人消防防災科学センター
- (3) 事業費 5,400千円
 - ・現行体制 1本部4署3分署7出張所
 - ・平成30年 火災：60件 救急：12,128件

2 調査方法

人口、道路状況、災害発生状況等のデータをもとに、市内を7地区に分け、各地区で発生する災害に最も効率的に対応できる消防署所の位置、消防車両の配置を分析、検討したもの。

3 調査結果

- (1) 現状消防力の運用効果は概ね良好であり、将来的にも良好な状態が維持できるが、人口減少に伴う署所の統合や救急需要への対応があげられた。
- (2) 将軍野出張所の庁舎更新に併せ、隣接する寺内出張所との統合を前提として検討を行った結果、現状の配置と比べ消防車両の到着状況に与える影響に大差はなく、さらに救急車を分散配置することにより、大幅な運用効果の向上が可能となるもの。
- (3) 将来的に他の庁舎についても、老朽化に伴う更新に併せた統合や人口減少に伴う統合、署所の機能を維持強化するための移転などについて検討する必要がある。
- (4) 消防車両および人員は消防活動において最も重要な要素であり、現状の消防活動能力を低下させることのないよう、消防車両数および運用人員を維持することが必要である。

4 今後のスケジュール

パブリックコメント実施	3月15日～5月15日
パブリックコメント結果報告	6月下旬

5 調査結果に対するご意見について

この調査結果において、将来的な消防需要への対応として示された、消防署所の統合や移転、将来的な消防力の整備方策に関する事項などに対してのご意見を募集します。

秋田市消防本部消防力適正配置調査報告

秋田市の署所配置状況



寺内・将軍野出張所を統合し救急車を配備した運用効果

救急車の到着状況（現状との差分）

区域名	救急事案発生件数	一定時間内に到着可能な比率[%]		平均走行時間[分]
		5分以内	10分以内	
中央地域	2,904	84% → 88% (4%向上)	100%	3.7分 → 3.5分 (-0.2分短縮)
北部地域	3,316	40% → 61% (21%向上)	90%	6.1分 → 5.2分 (-0.9分短縮)
:				
全域	12,867	58% → 64% (6%向上)	94%	5.1分 → 4.8分 (-0.3分短縮)